

6月中旬頃、梅雨入り 雨の日の運転に注意!!

まもなく梅雨入りです。
雨の日の運転は、晴れている時とは違って
交通事故の可能性が高まります。



～ 雨の日の運転 ～

① 視界が悪化

運転に必要な情報源は、ほとんど目から入ってきます。
雨が降れば、視界の多くが妨げられます。
さらには雨音で車外の音までも妨げられます。

ためらわずにワイパーの有効活用!!
昼間でも自分の車の存在を知らせるために
ヘッドライトをつけて走ることも有効です。



② 路面状況が悪化

雨の日の路面は、晴れの日の路面に比べて
車両が止まるまでの制動距離が長くなります。
急ブレーキをすればスリップしやすくなります。
スピードが早ければ、水たまりの上などで
ハイドロプレーニング現象
が発生し、車両が浮き車両操作が出来なくなります。

車間距離を多く取り、速度に注意して早めのブレーキ!
急の付く動作はやめましょう。
ハイドロプレーニング現象発生時には
ゆっくりスピードを落としタイヤが接するのを待ちましょう。



③ 夜間の雨は非常に危険

ヘッドライトの明かりで人や標識などの発見が遅れます。
特に無灯火の自転車は見えにくくなり非常に危険です。

飛び出してくる「かもしれない」予測運転の徹底!



要田駐在所だより

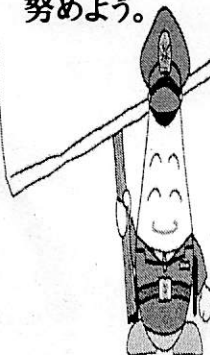
田村警察署
62-2121

要田駐在所
62-2164

平成28年
6月



歩行者、
自転車も
反射材
を有効活用。
事故防止に
努めよう。



回覧要田駐在所速報

TEL 0247-62-2164

県内死亡事故多発!

本年交通事故死者 34件35人 前年比+10件+11人

県内では3月以降、交通死亡事故が多発し、5月17日現在の交通事故死者は34件35人（前年比+10件11人）となっています。

いつ?

- 1・2月 午前8時から午後5時までの発生が多い。
- 3・4月 午後6時以降の夜間の発生が多い。
- 5月 午前4時から午前7時までの薄明時間帯と午後6時以降の薄暮・夜間の発生が多い。

どこで?

郊外での発生が26件（76%）

どんな事故?

- 車両相互 出会い頭と駐・停止中の車両への追突がそれぞれ3件
- 車両単独 工作物への衝突が6件
- 人対車両 すべて歩行者が横断中に被害に遭っている。

危険を予測

「かもしれない」運動



出てくる?
かもしれない

交差点での予測



見えて（見られて）いない?
かもしれない

死角等の予測



暗いから見えない
（歩行者の反射材等）?
かもしれない

夜間の予測